



# 礎 ishizue

三珠中学校校長室だより  
令和7年2月26日発行  
No.43  
文責 校長 渡邊 康裕

三珠中HPはこちら！



## 三珠中開校当時のお話

みなさんは「曾根峯(そねんぼう)」という冊子を読んだことはありますか？「曾根峯」は三珠文化協会が毎年発行するエッセー・短歌・俳句・川柳など三珠地区の方々の文芸作品発表の場として、長年地域の方々に親しまれている会誌です。▼毎年、この曾根峯に上野小・大塚小・三珠中の各校長は寄稿することになっていて、私も先日、原稿を書き終わったところです。せっかくの地域の会誌なので、「三珠地区に関することを書こう」と考え、校長室の金庫に眠る学校沿革誌を紐解き、三珠中開校当時の様子を書くことにしました。いざ、調べてみると思わず誰かに話したくなるものがたくさんあり、今、縁あって三珠中に通うみなさんに60年以上前の三珠中開校当時の様子を伝えたいと思います。▼三珠中の開校は昭和36(1961)年4月1日、上野中学校と大塚中学校が統合し三珠町立三珠中学校が誕生しました。この統合は昭和29年11月3日の三珠町発足当初からの計画だったそうです。



旧大塚中(東校舎)



旧上野中(西校舎)

野中と旧大塚中の両校舎に分かれて分散授業をすることにしたそうで、旧大塚中校舎を三珠中東校舎、旧上野中校舎を三珠中西校舎と呼びました。三珠中という名の新しい学校が誕生したにも関わらず、実質は1校の先生方が東西2つの校舎に分かれて(一部兼任の先生もいらっしゃいました)教育活動を行っていたそうです。このため学校運営上、幾多の困難と不便が生じましたが、初代校長の村松一夫氏は「十三名の職員はよく協力し合い、熱意と努力でこれを克服した」と学校沿革誌に記しています。開校当時の



初代校長  
村松一夫氏

生徒数は、男子144名、女子144名、計288名と今の4倍以上の生徒数があったことになりま

す。▼翌昭和37年4月6・7日の2日間にかけて、それまで東西別々の校舎に通っていた全校生徒が新校舎に移転し、



旧三珠中校舎(1962年～1984年)

名実ともに三珠中学校の歩みが始まりました。新校舎の場所は現在の三珠中学校の校庭南側なので、校舎と校庭の位置関係は今とは逆ということになります。校庭の整地については自衛隊が約一ヶ月間出動し、建設省(現在の国土交通省)も砂入れに協力してくれたという記録が残っています。▼三珠中PTAは校舎落成の記念事業として「校歌」・「応援歌」・「生徒会歌」の制定を計画し、「校歌」は作詞を伊藤勇氏、作曲を一瀬正造氏に、「応援歌」は作詞を安藤壮一氏、作曲を一瀬正造氏に依頼しました。「生徒会歌」は作詞を伊藤勇氏に依頼、作曲は当時、三珠中教諭であった一瀬愛子氏が行いました。これら3曲の完成をお披露目する発表会は昭和37年3月3日、自衛隊音楽隊を招いて盛大に挙行されました。「校歌」・「生徒会歌」は今でも歌い継がれていますが、「応援歌」は現在、その存在を知る人さえも見つかりません……。もしも保護者の中でご存知の方がいらっしゃいましたら、是非ともご一報をお願いします。▼今回、三珠中の歴史を調べてみて、もっともっと三珠中のことを知りたくると同時に、開校から64年もの歴史をもつ三珠中のことを誇らしく思いました。今、私たちは三珠中の歴史を1日1日更新しています。64年の伝統に相応しい毎日を、みなさんと共につくっていけたら幸いです。



現三珠中校舎(1984年～)